

■東北縦貫自動車道弘前線（仮称）大玉スマートインターチェンジ 説明会【概要版】

(1)スマートインターチェンジ構造

接続形式

本線直結型 ※1

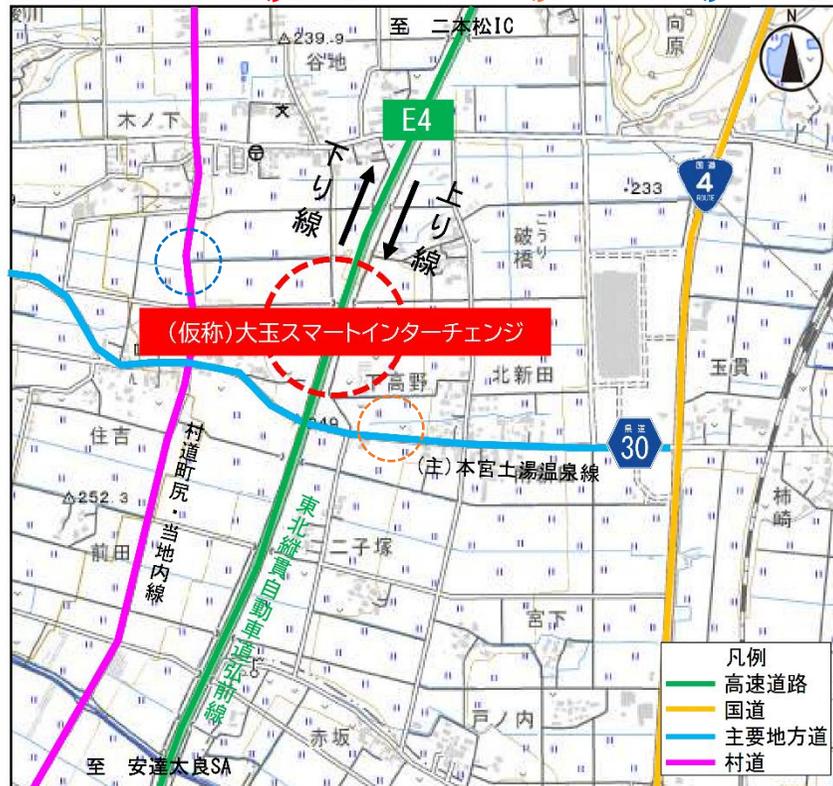
※1 本線直結型とは、高速道路本線へ直接アクセス路を接続させる形式です。その他、高速道路との接続箇所がサービスエリア・パーキングエリアであるSA・PA接続型の形式があります。



※村道名称は仮称

(2)スマートインターチェンジ設置位置

○(仮称)大玉スマートインターチェンジ ○上り線接続予定箇所 ○下り線接続予定箇所



(3)高速道路建設の流れ

01 事業計画説明

地元住民等の関係者に路線概要と今後の予定を説明します。



02 測量・土質調査・設計

地権者の皆さまから立ち入り了解をいただき、路線測量及び土質調査を実施します。その結果を踏まえて設計を実施し、図面を作成します。



03 設計協議

図面に基づき周辺の道路や水路の切り替え等について協議を行い、構造について決定します。協議の結果を基に設計を行い、買収する用地の幅を決定します。



04 用地幅杭設置・土地測量

地権者の皆さまから立ち入りの了解をいただき、設計図にそって用地幅杭を打っていきます。地権者の皆さまに用地境界を確認していただき、用地の測量を行います。買収する用地内に建物や立木がある場合は、それらの測量・調査も行います。



05 用地取得

適正かつ公平な考えにより土地価格や建物の移転料などの補償金の算定を行います。その後、所有者の方々に補償内容を説明しご理解をいただいた上で契約を結びます。



06 埋蔵文化財調査

買収した土地に埋蔵文化財がある場合は、発掘調査を実施します。



07 工事

事業進捗に合わせて、土木工事、舗装工事、施設工事を順次発注します。工事の品質管理や工程管理などを行い、工事の完成を目指します。



08 開通



資料:「NEXCO東日本企業情報サイト」より抜粋